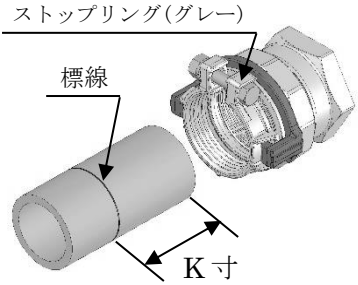
SKX－P50（キャップ当て締めタイプ）

SKX® 施工手順（ポリエチレン管(PE)用）

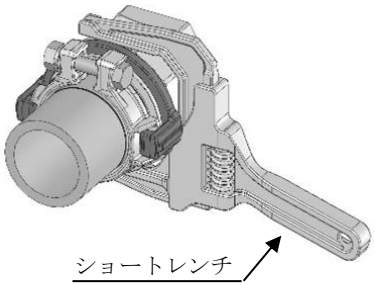
①パイプ挿入量記入

パイプ挿入量(K寸)を測り、**標線**を記入して下さい。
分解せずにそのまま**標線**まで挿し込んで下さい。
（管切断のカエリは取り除く。滑剤塗布不要）



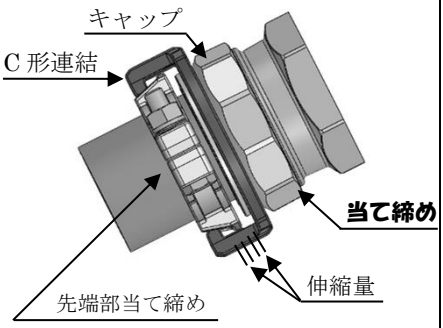
②キャップ本締め

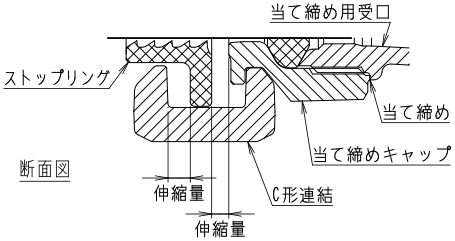
標線とストップリングの端面を合わせた状態で、キャップを手締めしてパイプを固定した後、ショートレンチで**キャップを当て締めして下さい**。



③ストップリング本締め

C形連結を管中心方向に**押えながら、ストップリングを締めやすい位置にして下さい**。
両端に伸縮量を保った状態で、**ストップリング先端部を当て締めして下さい**。





注 1)ストップリングは当て締め後、さらに締め付けると破損など不具合が生じることがあります。
注 2)管とストップリングが直角になるように締め付けて下さい。
注 3)再施工時は「施工ハンドブック」を参照して下さい。

④接合完了

キャップとストップリングの**締め忘れを確認**して下さい。

≪パイプの取り外し≫

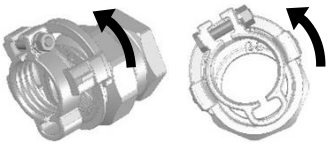
・ストップリング締付ボルト・ナットとキャップを緩め、**ストップリング締付部を開放ナットで広げる**ことにより、パイプと**分離可能(分解不要)**です。

管 呼び径	SR 呼び径 (グレー)	本体・ キャップ 呼び径	K (mm) ＋10/－0	キャップ （参考締付トルク N・m）		ストップリング （参考締付トルク N・m）		六角 対辺
50	P50	50	75	当て締め	(35)	当て締め	(12)	17

SKXストップリング（SR）交換手順

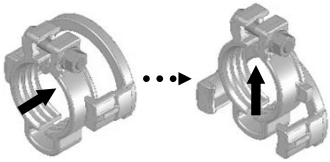
①C形連結取り外し

C形連結の一方を支点とし、他方をプライヤー等で回し、取り外して下さい。



②ストップリング取り外し

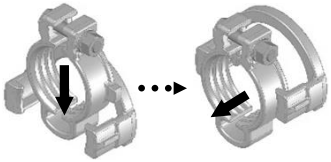
SRとC形連結を合わせ、SRを上方向に抜いて下さい。



③ストップリング交換

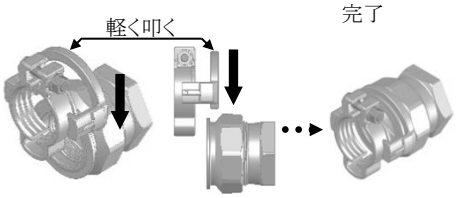
適用管用SRとC形連結を合わせ、SRを下方向に入れ、C形連結から離して下さい。

※下図のように、ボルト・ナットを上にして、向きが逆にならないように注意して下さい。



④C形連結取付

C形連結をキャップの外溝に合わせて、C形連結上部を木槌等で軽く叩いて入れます。



パイプ取り外し方法

ストップリングの締付ボルト・ナットとキャップを緩め、ストップリング締付部を開放ナット（呼び径50）で広げることによりパイプとの分離が可能です。**（分解不要）**

(株)川西水道機器　TEL 087-805-0001（施工コールセンター）
FAX 087-877-2801

2020.11.16